

2020年4月20日

ご家族様・関係者様各位

特別養護老人ホーム 弥栄の郷
併設 短期入所生活介護
弥栄の郷 デイサービスセンター
施設長 井上 幸久
統括 赤木 優一

コロナウイルス対策を含め、弥栄の郷の現状と今後の対応に 関する考え方について

皆様におかれましては、既にご存知の通り、厚労省をはじめ、各都道府県から発信されている「緊急非常事態宣言」に基づき、日々の生活をお過ごしのことと存じます。又、弥栄の郷におきましては、関係省庁発信の通知に基づき、運営しているところでございます。

周辺地域の施設が面会禁止にしている中、弥栄の郷と致しましては、ギリギリのところまで、制約を加えながら、面会可能としておりましたが、多くの方の命をお預かりさせて頂いている者として、「面会を受け入れ続ける事が正解なのか、受け入れない事が正解なのか、又、どちらの対応を取ったとしても、それらに対する弊害は生まれないのか」、このような事に悩みながら、最終的に、無期限の面会中止という判断を致しました。勿論、皆様の面会を中止したからといって、100%感染しないという事はありませんし、実際のところ、職員はそれぞれの交通手段で出勤し、弥栄の郷で使用される生活必需品は業者により納入されます。職員に対しては、不要不急の外出は控えるよう発信しておりますが、それらを堅実に守ったとしても、皆さんと同じように、生活を営む上で、最低限の外出はせざるを得ません。三密を避けて生活をする事は当然ですが、どこで何がどのようになって、感染してしまうのかについても、明確ではない為、対策にも限界があります。従って、面会を中止にしたからといって、施設内に菌を持ち込まないという保証はどこにもありません。

「これが正直な気持ちであり本音です。」

マスクに関しましては、幸いにも、消費増税前に購入していた事もあり、無駄な使い方をしなければ、1年弱は持つだろうと予測しております。使い捨てのガウンや手袋、防護服といったところまでは、さすがに豊富な備蓄もなく、施設内でコロナウイルス感染が発生した場合は、たちまち、大変な状況となってしまいます。

国から発信されている中で、5/6 までは多くの事柄について自粛という流れではありますが、現状から感じ取る限り、延期は濃厚であると思われれます。この事により、我々、介護施設に対する制限は続くだろうと考えております。(以下はご参考までに、ご確認下さい)

特養において、面会以外に現在中止しているもの

・クラブ活動 ・ボランティア活動の受け入れ ・訪問理美容 ・消防設備機器点検等

必要と判断し実施しているもの

・嘱託医による診察 ・訪問歯科 ・緊急性のある面会（救急搬送など） ・その他、必要時

- 4/13 第12回大阪府コロナウイルス対策本部会議にて、「外出自粛の要請」「イベントの開催自粛の要請」だけではオーバーシュート（感染爆発）の危険性がある事から、新たに【施設の使用制限の要請】等が追加されました。それに伴い、大阪府福祉部高齢介護室介護事業者課長名で、「通所又は短期間の入所の利用者に対して、家庭での対応が可能な場合には、可能な限り、サービス利用を自粛頂くようお願い申し上げます。」という通知が出ております。

弥栄の郷と致しましては、ご利用頂ける事に深く感謝申し上げますと同時に、出来る限りの対策を図りながら運営して参る所存でございます。このような状況下でサービスをご利用頂く事によるリスクは、少なからず避けては通れない部分であり、それらを共通認識として持ち、ご利用頂く為には、嘘偽りのない現状や、弥栄の郷の考えをお示しする必要性が高いと考えております。様々な不安を抱えながらの生活となってしまいましたが、皆様方もくれぐれも感染なさらぬよう、十分にお気をつけ下さい。